

STAY HOME

楽しく遊ぶための事故予防





# ♪らららぞうきん♪



①ラララぞうきん ラララぞうきん  
ラララぞうきんを縫いましょう

お腹をさすさす上下に  
さすりましょう!

②チクチクチク チクチクチク  
チクチクチクチク 縫いましょう

お腹やほっぺをちくちく  
とつつきましょう!

③ラララぞうきん ラララぞうきん  
ラララぞうきんを洗いましょう

お腹をさすさす上下に  
さすりましょう!

④ザブザブザブ ザブザブザブ  
ザブザブザブザブ 洗いましょう

手足を持って、上下に  
ゆらしましょう!



# 現在の事故の状況

- ・ 0歳児の死亡原因で**不慮の事故**は第4位
- ・ 死亡事故は、0歳児において56%が**住居**で発生している。
- ・ 0歳児では**窒息**が圧倒的に多い。

状況としては就寝中に発生するものが多く、他は嘔吐物や食物などの**誤飲**が原因とされている。

(出典)

・ 子どもの事故の現状について 消費者庁  
[https://www.caa.go.jp/policies/policy/consumer\\_safety/child/children\\_accident\\_prevention/pdf/children\\_accident\\_prevention\\_171031\\_0002.pdf](https://www.caa.go.jp/policies/policy/consumer_safety/child/children_accident_prevention/pdf/children_accident_prevention_171031_0002.pdf)

・ 死亡事故の場所、0歳児の56%が「住居」?! 知っておきたい赤ちゃんのための「住まいの安全対策」ライフホームズプレス  
[https://www.homes.co.jp/cont/press/reform/reform\\_00541/](https://www.homes.co.jp/cont/press/reform/reform_00541/)

# 10ヶ月頃からできること

- ・つかまって立ち上がる
- ・後追いをする
- ・ビンのふたを開けたり閉めたりする



これから段々できるようになってくること…

- つたい歩きをする

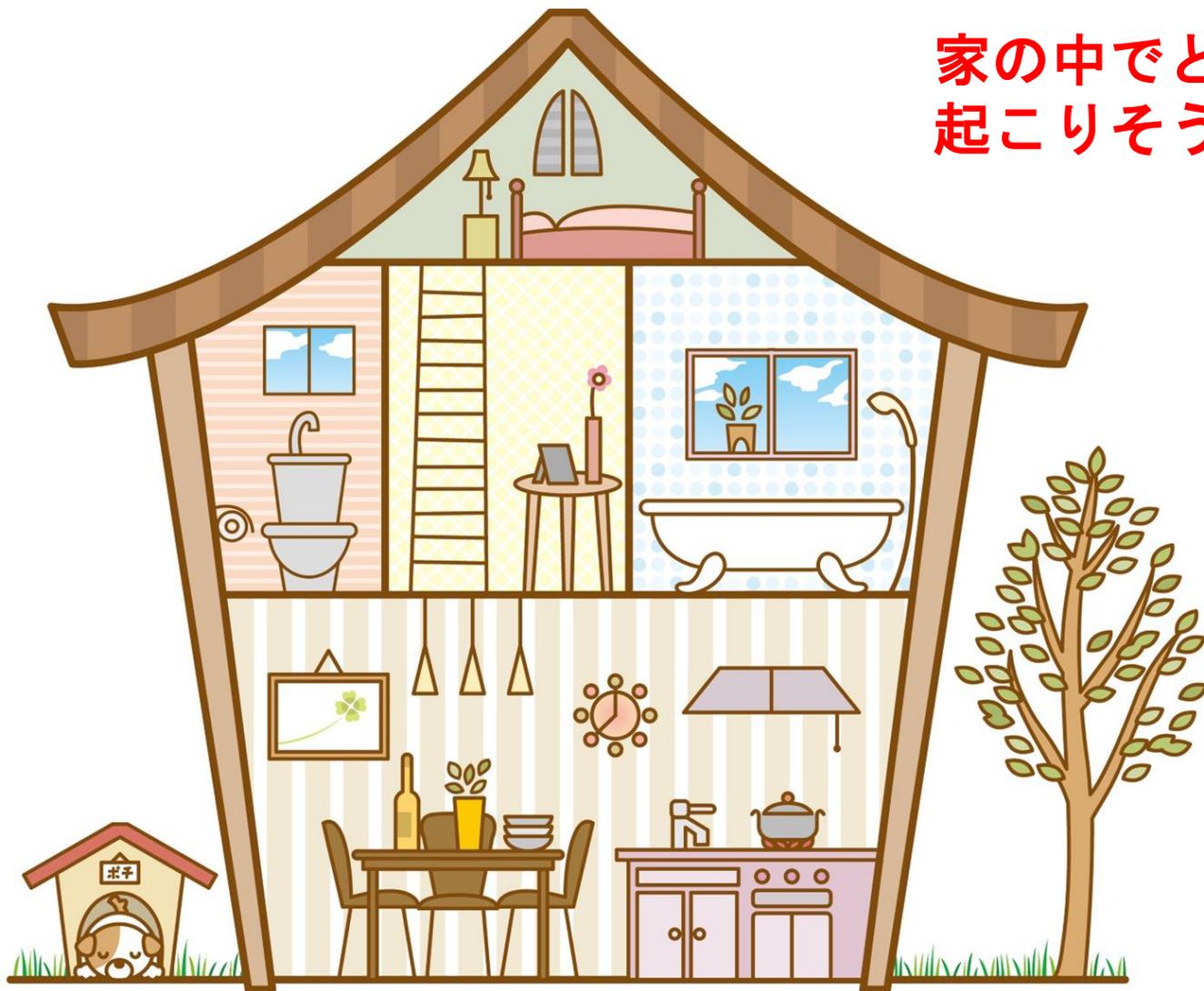
- 2～3歩歩く

- コップの中の小物を取り出そうとする

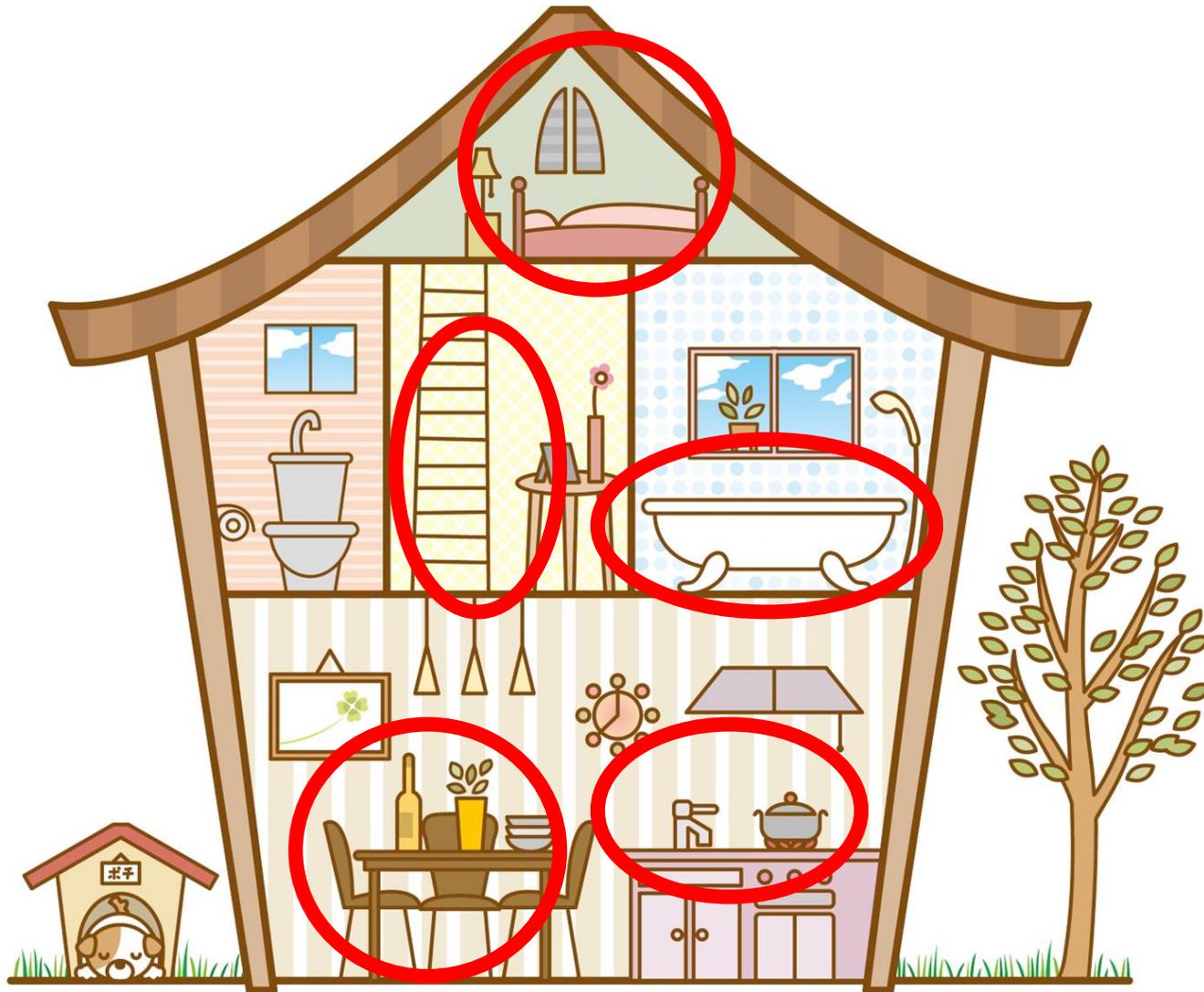


# 家庭内で起こりうる事故

家の中でどんな事故が  
起こりそうでしょうか…？



家庭内でも事故の要因はたくさんある!



# 窒息事故①（寝室）



## 寝返りができることで

- ・ うつ伏せ寝で顔がやわらかい寝具に埋もれる
- ・ ベッドと壁の隙間に挟まれる
- ・ ミルクの吐き出しによる窒息

### 【予防ポイント】

- ・ ベビーベッドを使用し、敷き布団やマットレス等の寝具は硬いものにする
- ・ 掛け布団は軽いものを使用し、顔にかからないようにするにする
- ・ ベッドと壁の間に隙間をつくらない
- ・ 授乳した後は、げっぷをさせてから寝かせる

# 窒息・誤飲事故②

## (リビング)



何でも口に入れてしまう、物を掴めるようになることで  
たばこ、医薬品、化粧品、洗剤、コイン、おもちゃ等での  
誤飲・窒息

### 【予防ポイント】

- ・ 4cm以下の口に入るような物を手の届く環境（高さ1m以下）に置かない
  - 《**トイレトペーパーの芯**の中を通る大きさは特に注意!!》
- ・ 小物はまとめてBOXに入れ、お子さんの手の届かない場所に置いておく

# 誤飲をしてしまったら...



## 【対処の仕方】

まずは口の中を確認！

口の中に含んでいたら、指を入れて取り出す。

### <注意>

- びっくりして気管に吸い込んでしまうことがあるため、**大きな声で呼びかけない**
- ものが口の中に見えているときは、指でかき出す
- あわてて奥に押し込まないように注意する

# 異物を飲み込みのどに詰まってしまったとき...



119番通報を行ない、直ちに以下の方法で詰まった物の除去を試みる

## < 背部叩打法（はいぶこうだほう） >

乳児を片腕にうつぶせに乗せ、顔を支えて、頭を低くして、背中の中を平手で何度も連続して叩く

### こんな時は医療機関！

- ・ 飲み込んだとたんに咳が始まった
- ・ 呼吸の状態が変わった
- ・ 顔色が悪い・ぐったりしている



# 水まわりの事故① (浴室)



つかまり立ち、一人歩きができるようになることで  
〈子どもだけの場合〉

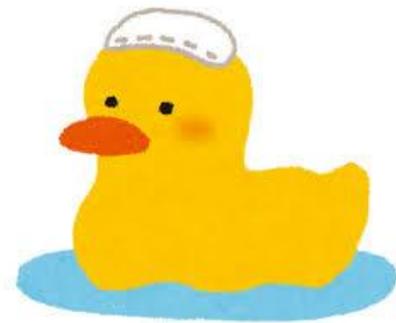
浴室にお子さんが一人で入り、浴槽をのぞき込んで転倒し、  
溺れてしまう

## 【予防のポイント】

- ・ 入浴後は浴槽の水を抜く
- ・ 浴室には外鍵をつけておく
- ・ 子どもが持ち上げられないように、浴槽のふたを厚くて固いものにする

乳児は体に対して**頭囲**が大きく、  
のぞき込んだりすると  
バランスを崩しやすい!

# 水まわりの事故② (浴室)



つかまり立ち、一人歩きができるようになることで

〈大人と一緒にいる時の場合〉

入浴時に大人が目を離して、溺れてしまう

【予防のポイント】

- ・ 大人が洗髪中は子どもを浴槽から出す
- ・ 入浴時は少しの間でも子どもから目を離さない
- ・ 入浴中、子どもを一人にしない
- ・ 入浴の出入りは、先に大人が入り、先に子どもを出す

# 水まわりの事故③ (洗面所)

つかまり立ち、はいはい、一人歩きができるようになることで  
バケツ、洗面器、洗濯機などに溜まった水に溺れてしまう

## 【予防のポイント】

- ・ 使用中は洗濯機のふたをロックする
- ・ 使用後の洗濯機は必ず水を抜いておく
- ・ バケツや洗面器の水の量が少なくても、近くに子どもを一人にしない



# 溺れてしまったら・・・



## 【対処のしかた】

水から引き上げた後、すぐに大声で泣けば大丈夫  
安静に寝かせて様子を見るようにする

## 意識がない場合

- ① 気道を確保し、救急車を呼ぶ（119番通報）
- ② 救急手当てをする

# 救急手当の方法①

## ①意識を調べる

子どもを仰向けにし、呼びかけや刺激に反応するか、確認をする

## ②助けを呼ぶ

意識がないときは、大きな声で助けを呼び、119番通報をする

周囲に協力者がいない場合は、

直ちに「③気道を確保する」以下の手当に入り、

「⑥心肺蘇生法」を一分間行ってから119番通報する

# 救急手当の方法②



## ③気道を確保する

あごを静かに引き上げ、頭をそらせて気道を確保する  
口や喉に異物がつまっていることが確認できたら、指  
で異物を掻き出すか、膝の上に腹ばいにさせ、頭部を  
低くし、背中を5回以上強く叩き、吐かせる 〈背部叩打法〉

## ④呼吸を調べる

頬を口・鼻に近づけ、呼吸の有無を確認する

## ⑤人工呼吸を2回行ない、反応をみる

呼吸音や吐息、胸や腹の動きが感じられなかったり、  
十分でないときは、人工呼吸を2回行ない、反応をみる

# 救急手当の方法③



## 人工呼吸の方法

### 生後28日以上1歳未満の子ども

- ・ 救助者の口で子どもの口と鼻を覆い、胸が膨らむ程度に息を吹き込む（吹き込みは1回1～1.5秒程度）

### 1歳以上8歳未満の子ども

- ・ 子どものおでこに当てた手の指で鼻をつまみ、胸が膨らむ程度に口から息を吹き込む（吹き込みは1回1～1.5秒）

# 救急手当の方法④



## ⑥心肺蘇生法を行う

人口呼吸を行っても反応がないときは、直ちに心臓マッサージと人工呼吸を繰り返す「心肺蘇生法」を行う

### 生後28日以上1歳未満の子ども

- ・ 指2本で、胸の厚さ1/3の深さまで圧迫する
- ・ 1分間に少なくとも100回のリズムで圧迫する

### 1歳以上8歳未満の子ども

- ・ 片手で圧迫をする
- ・ 胸の厚さ1/3の深さまで圧迫する
- ・ 1分間に100回のリズムで圧迫する

心肺蘇生法は心臓マッサージ5回  
人工呼吸1回の組み合わせで行う

# やけどの事故①（キッチン）



つかまり立ち、一人歩きができることで

お茶・味噌汁・カップ麺などでのやけど

【予防のポイント】

- ・ 高温のものを扱うときは、子どもが手の届かない場所に置く
- ・ テーブルクロスなどはやけどの原因になるので使わない

電気ケトル、ポット、炊飯器でのやけど

【予防ポイント】

- ・ 電気ケトルや、ポットはお湯が出ないように必ずロックし、子どもの手の届かないところに置く

# やけど事故②

## (キッチン、リビング)



はいはい、つかまり立ち、一人歩きができることで

暖房器具や加湿器でのやけど

【予防ポイント】

- ・ 床に置くタイプの暖房器具は安全柵などで囲む
- ・ 加湿器の使用時はベビーゲートを使用し触れさせない

調理器具やアイロンでのやけど

【予防ポイント】

- ・ 調理器具やアイロンは使用後も高温のため、速やかに片づけたり、手の届かないところに置く

# やけどをしてしまったら...

まずは**流水で30分程度冷やす**！

冷やすことで、やけどが皮膚の深部にまで進むのを防ぎ、痛みを緩和

## **こんな時は医療機関!!**

- やけど部分に水ぶくれがある
- 冷やしても赤みが引かない
- やけどの範囲が広い

# 転落・転倒事故①（寝室）

寝返りをうてるようになることで

大人用のベッドからの転落



【予防のポイント】

- ・子どもを一人にしない
- ・寝かしつけた後はできるだけ子どもをベビーベッドに移す

【注意】

- ・大人用ベッドに取り付ける幼児用ベッドガードは頭を挟んで窒息する危険があるので、生後18ヶ月未満の子どもには絶対に使用しない



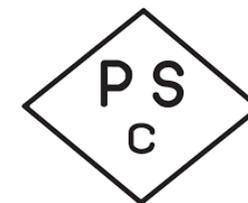
## 転倒・転落事故② (寝室)

寝返り、つかまり立ちができるようになることで

ベビーベッドやオムツ替え時の台からの転落

【予防のポイント】

- ・ 柵は常に上げておく
- ・ PSCマークが貼付されたベビーベッドを選ぶ
- ・ 高さのある場所では子どもから目を離さない
- ・ 2歳になるまではできるだけベビーベッドで寝かせる
  - 柵を越えてしまう危険がある場合は床板の高さを低くする
  - ベッド内にお子さんの踏台をつくらない
  - 子どもの成長発達に合わせて新たにベッドを用意する



# 転倒・転落事故③（リビング）

寝返り、つかまり立ちができるようになることで

椅子やソファからの転落

【予防のポイント】

- ・ 椅子や子ども用ハイチェアの上で立ち上がったり、座ってテーブルを蹴ったりさせない
- ・ ハイチェアの安全ベルトは、必ず締める
- ・ ソファの上で寝かせない



# 転倒・転落事故④（ベランダ、窓辺）

つかまり立ち、つたい歩き、一人歩きができることで  
ベランダなどからの転落

10ヶ月の子どもは高さの感覚  
がまだつかめていない!

## 【予防のポイント】

- ・ 子どもだけでベランダにださない
- ・ 植木鉢、椅子などの踏台になるものを置かない
- ・ 子どもだけを家に残して外出することは避ける



# 転倒・転落事故⑤ (階段、玄関)

はいはい、つたい歩き、一人歩きができるようになることで

階段から転落、段差での転倒

【予防のポイント】

- ・ 玄関や階段にいけないように移動防止柵をつけ、閉め忘れのないようにする
- ・ 滑って転落しないようにマット類を置かない



# 転倒・転落で頭をうってしまったら...



## 【対処のしかた】

すぐに泣き出し、泣き止んだ後は機嫌が良く、食欲もある  
⇒様子を見守る

## こんなときは救急車!!!

- ・ 吐く
- ・ 呼吸が荒い
- ・ いびきをかく
- ・ うとうとして顔色が悪い
- ・ 光をまぶしがっていやがる

いつもと様子が違う時は病院へ！



# 転倒・転落で頭をうってしまったら...



## こぶができたら

- ・ぬれタオルや熱冷却シートで冷やす
- ・こぶが大きくなってきたら病院を受診する

## 鼻血がでたら

- ・体を起こして座らせ、小鼻の少し上あたりを押さえて止血する

# その他の事故①（キッチン）

物をつかめる、はいはい、つたい歩きができるようになる  
ことで

## 刃物で手を切る

### 【予防ポイント】

- ・ 刃物を使用したらすぐに収納場所に片づける
- ・ 収納場所の扉や引き出しにはチャイルドロックを付ける
- ・ キッチンにはベビーゲートなどで子どもを入れない
- ・ 調理中はベビーベッドに入れておく
- ・ 家族にも指定の場所に片付けることを伝える



# その他の事故②

はいはい、後追い、つたい歩き、一人歩きができることで

ドアや窓に手や指を挟む

【予防のポイント】

- ・ 開閉時は子どもが近くにいないか確認する
- ・ ドアのちょうつがい部分に隙間防止カバーをつける

扇風機に指を入れてケガの恐れ

【予防ポイント】

- ・ 扇風機用のネットで覆う

テーブルなどの家具の角に頭や顔をぶつけてケガをする恐れ

【予防ポイント】

- ・ 家具類の角には、クッションテープを取り付ける



# 出血をしたとき...

## まず止血する

止血したら、感染予防のために傷口を洗う  
傷口の深さと大きさを確認してガーゼを当てて止血する

それでも血が止まらない場合は、病院を受診する





# 引用参考文献

- ・ 子どもの事故の現状について 消費者庁

[https://www.caa.go.jp/policies/policy/consumer\\_safety/child/children\\_accident\\_prevention/pdf/children\\_accident\\_prevention\\_171031\\_0002.pdf](https://www.caa.go.jp/policies/policy/consumer_safety/child/children_accident_prevention/pdf/children_accident_prevention_171031_0002.pdf)

- ・ 死亡事故の場所、0歳児の56%が「住居」?! 知っておきたい赤ちゃんのための「住まいの安全対策」

[https://www.homes.co.jp/cont/press/reform/reform\\_00541/](https://www.homes.co.jp/cont/press/reform/reform_00541/)

- ・ たかだこどもクリニック

[https://takada-kodomo.com/chocho/201301\\_2.html](https://takada-kodomo.com/chocho/201301_2.html)

- ・ 子どもの事故予防教室 <https://www.pref.aomori.lg.jp/soshiki/kenko/iryo/files/3-shouni-guidebook.pdf>

- ・ 子どもを事故から守る!!事故防止ハンドブック 消費者庁

[https://www.caa.go.jp/policies/policy/consumer\\_safety/child/project\\_002/pdf/consumer\\_policy\\_cms205\\_191101\\_01.pdf](https://www.caa.go.jp/policies/policy/consumer_safety/child/project_002/pdf/consumer_policy_cms205_191101_01.pdf)

# 引用参考文献

- ・ やけどの処置

[https://epark.jp/kosodate/enjoylife/k-child-burn\\_18763/](https://epark.jp/kosodate/enjoylife/k-child-burn_18763/)

- ・ 0～1歳児の大人用ベッドからの転落事故にご注意ください 福岡市

[https://www.city.fukuoka.lg.jp/shimin/shohiseikatsu/life/syouhiseikatusentauhoumupeiji/kouenjigyou\\_20170514\\_2\\_2\\_2\\_2.html](https://www.city.fukuoka.lg.jp/shimin/shohiseikatsu/life/syouhiseikatusentauhoumupeiji/kouenjigyou_20170514_2_2_2_2.html)

- ・ 乳幼児の転倒・転落事故防止ガイド ヒヤリ・ハットレポート no.11 東京くらしweb

<https://www.shouhiseikatu.metro.tokyo.jp/anzen/publication/documents/cms-hiyari11.pdf>

- ・ こんなときど・う・す・る？お父さん・お母さんのための小児救急対応マニュアル 釜石市・大槌町

[http://www.kamaishi-med.or.jp/wordpress/wp-content/themes/kamaishimed/pdf/kyukyu\\_2016.pdf#page=14](http://www.kamaishi-med.or.jp/wordpress/wp-content/themes/kamaishimed/pdf/kyukyu_2016.pdf#page=14)